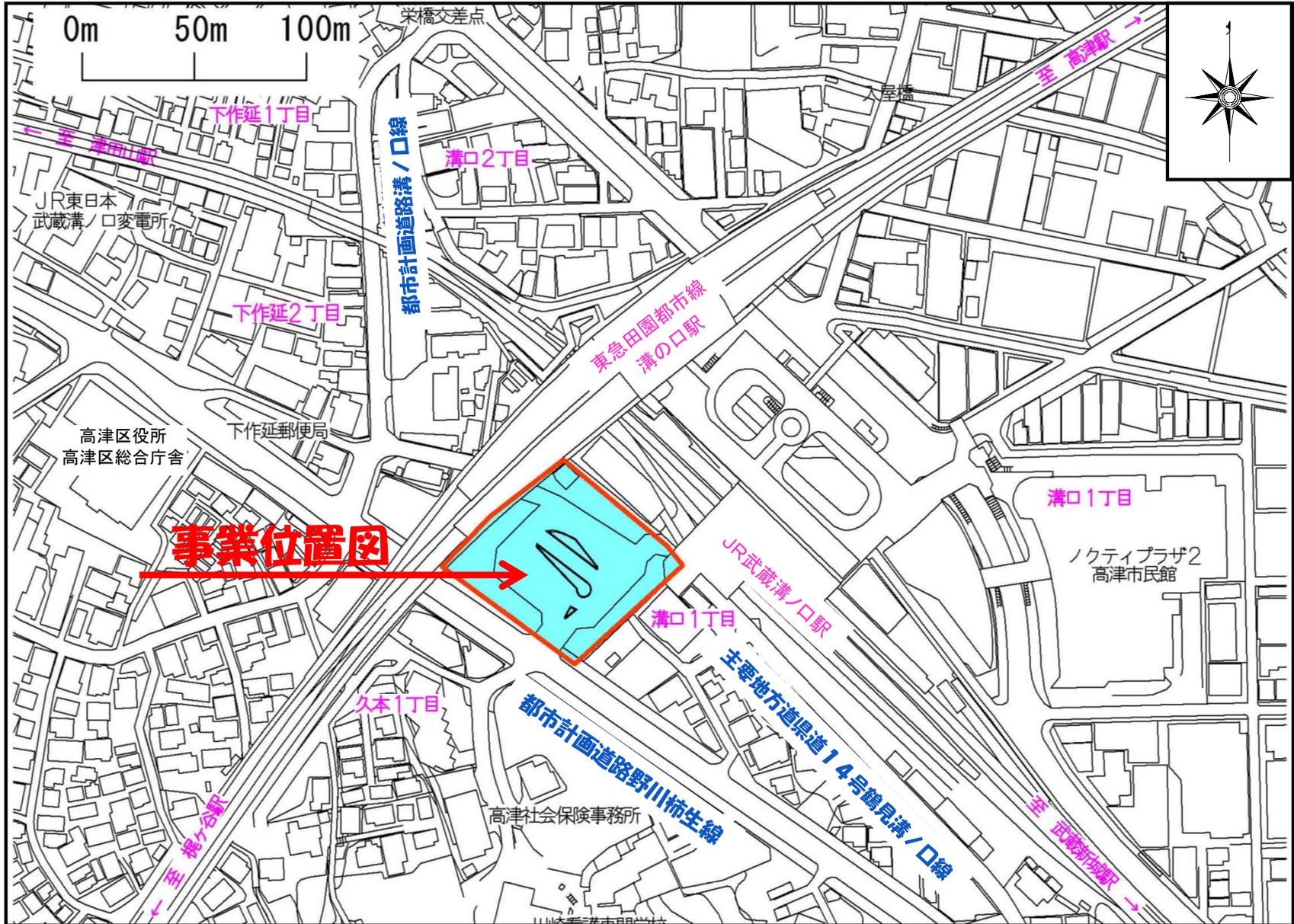


# 第30回 全国街路事業コンクール応募資料

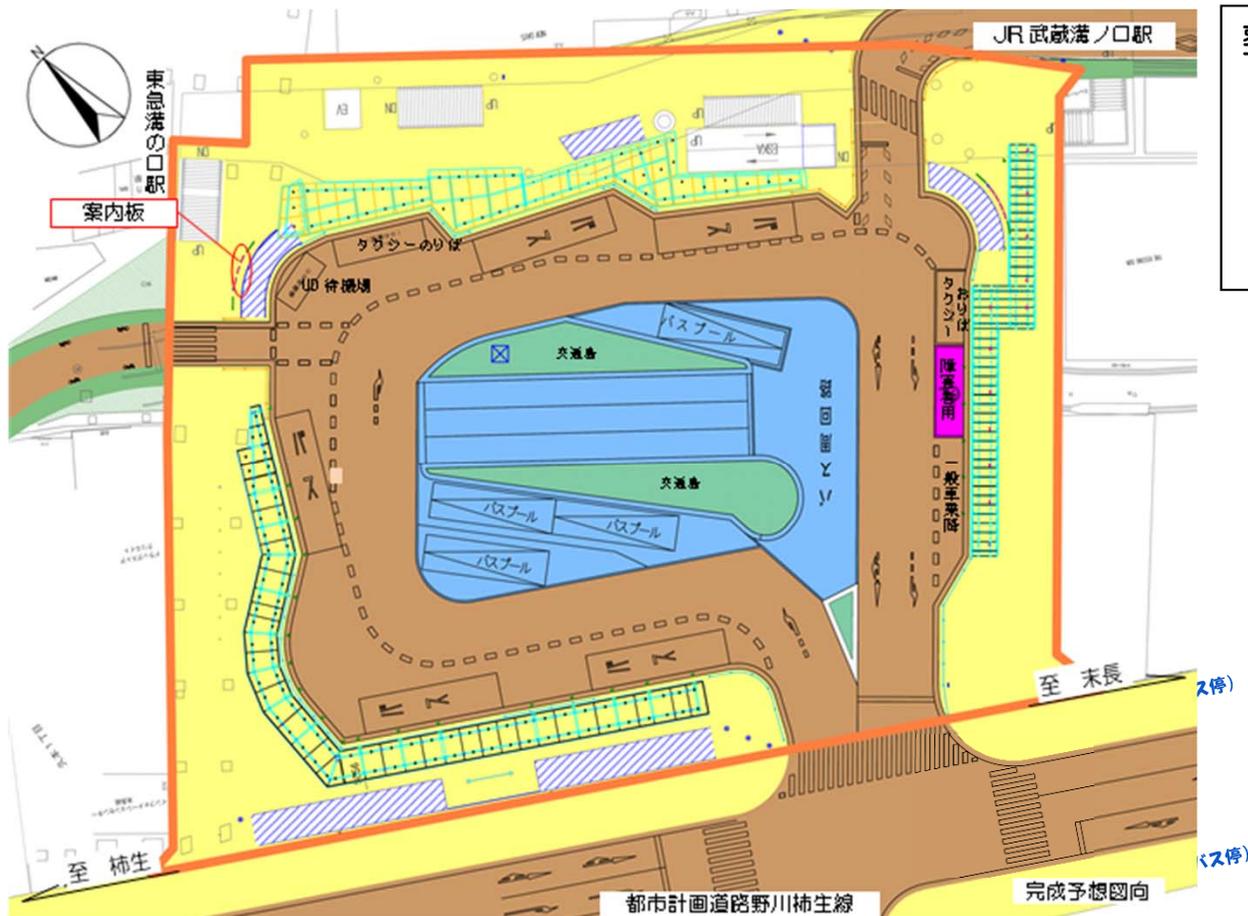
様式1

ふりがな 応募者名		かわさきし けんせつりょくせいぎょく どうろかせんせいびぶ なんぶとしきばんせいびじむしょ 川崎市 建設緑政局 道路河川整備部 南部都市基盤整備事務所
街路事業	ふりがな 事業の名称	みぞのくちえきみなみぐちひろばせいびじぎょう 溝口駅南口広場整備事業
	ふりがな 事業主体	かわさきし 川崎市
	ふりがな 実施都市名	かわさきし 川崎市
	事業概要 (400字以内)	
事業規模		<p>○事業延長:187m(広場面積:5,400m<sup>2</sup>)</p> <p>○事業費:633,920,000円(地下駐輪場工事1,422,940,920円)</p> <p>○幅員:20m~56.2m</p> <p>○事業期間:平成27年7月6日~平成29年3月30日</p>
事業の目的		<p>本事業は、都市計画道路野川柿生線(溝口駅南口広場)において、バス停が分散して配置され、一般車の乗降場や、タクシー乗降場等の施設が整備されていなかったことから、バスバース、バスプール、タクシーのりば、タクシーおりば、タクシープール、UDタクシー待機場、一般車乗降場、障がい者用乗降場、バスシェルター等の駅前広場施設を機能的に配置することで、交通結節機能の強化を図り、野川柿生線の交通の円滑化、駅利用者の利便性の向上や安全・安心な歩行空間を確保するため、整備を行いました。</p>
事業効果 (効果一覧を参考に具体的な効果を記入)		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の完成により、周辺のバス停が集約され、既存の川崎市営バスに加え、東急バスが利用を開始するとともに、平成29年10月1日より川崎市営バスで新規路線が新設され、運行本数が増加しました。 (溝口駅南口広場を出発する平日1日のバス本数、工事前:約420本、工事後:約620本、10月1日から:約640本)</li> <li>・今まで整備されていなかったタクシーのりば、タクシーおりば、UDタクシー待機場、一般車乗降場、障がい者用乗降場を整備したことにより駅利用者の利便性が向上しました。</li> <li>・整備前は野川柿生線にバス停、タクシーの無秩序な列、一般車の送迎による停車が後を絶たず、渋滞要因となっていたが、本事業の完成により、渋滞要因は解消され、交通の円滑化に寄与しました。</li> <li>・太陽光パネルと蓄電池付のエコ街灯の設置により、災害等による停電時でも点灯が可能になりました。</li> <li>・広い幅員(平均9.0m)の確保及び透水効果と保水効果を有する平板ブロックを設置したことにより、安全・安心で快適な歩行空間を整備しました。</li> <li>・バスシェルターに太陽光パネルを設置したことにより、周辺施設の電力の一部をカバー、保水・透水平板ブロック・遮熱性舗装の導入により、ヒートアイランド対策に寄与しました。</li> </ul>
地元対応等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民との協働等</li> <li>・事業反対等があったか</li> <li>・合意形成等を図ったか</li> <li>・地域に配慮した点</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備前から乗客数並びにバス本数が非常に多かったことから、バス事業者と施工ステップの切替え毎の実車実験を含めた打合せなど、綿密な協議を重ねることで、バスを運行させながら工事を実施しました。</li> <li>・周辺には学校、商業施設があることから、施工ステップの切替え毎に利用者向けに工事の内容が分かる書面を配布するとともに、現地に看板を設置しました。</li> <li>・整備により、交通規制の変更を行う際は、関係する周辺の住民や店舗等を訪問し工事に対する理解と協力をお願いしました。</li> </ul>

# 事業位置図



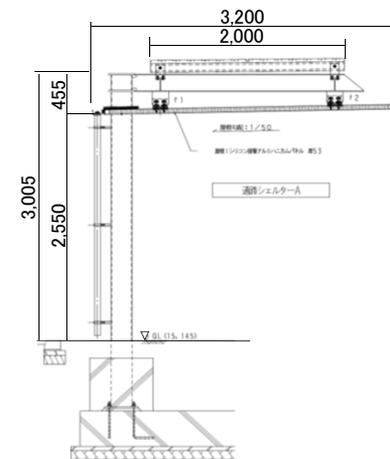
# 全体図(平面図・横断図・縦断図)



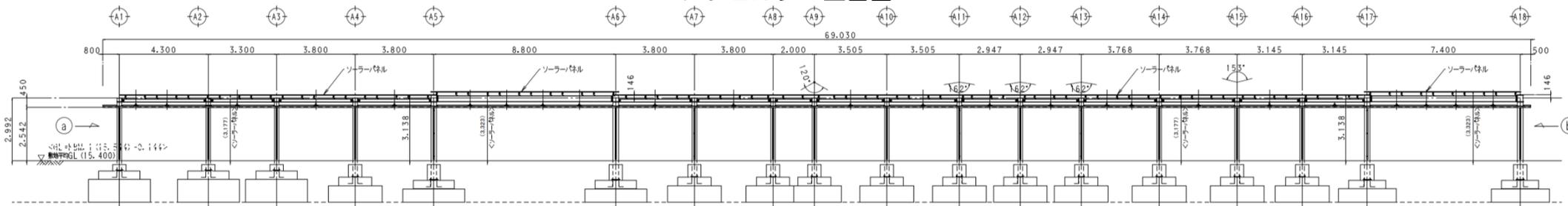
## 整備概要

- バスバス：5台
- タクシー乗車場：1台
- タクシープール：約18台
- 一般車乗降場：2台
- バスプール：4台
- タクシー乗車場：1台
- UDタクシー待機場：1台
- 障害者用乗降場：1台

## バスシェルター断面図



## バスシェルター立面図



# 事業前写真

平成25年7月撮影

事業前写真1



平成25年5月撮影

事業前写真2



平成25年5月撮影

事業前写真3



事業後写真

平成29年4月撮影

事業後写真1



事業後写真2



事業後写真3

平成29年2月撮影



事業後写真4

平成29年5月



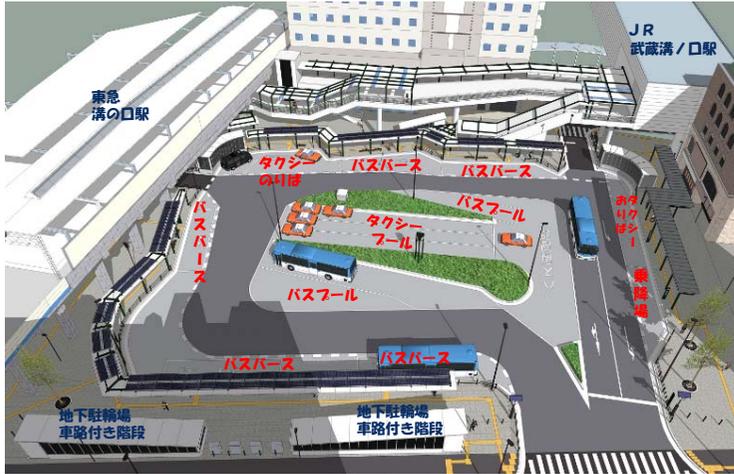
事業後写真5

平成29年5月



# 野川柿生線の事業効果アピール資料

## ☆事業効果① 「交通サービス水準の向上」



整備内容		整備前	整備後
バス	バスバース	2台	5台
	バスプール	0台	4台
タクシー	タクシーのりば	0台	1台
	タクシーおりば	0台	1台
	タクシープール	0台	約18台
	UDタクシー待機場	0台	1台
一般車	一般車乗降場	0台	2台
	障がい者用乗降場	0台	1台
溝ノ口駅南口広場を出発するバス（平日1日当たり）			
		整備前	整備後
広場内		420本	620本
野川柿生線		200本	0本
平成29年10月1日～（新規路線増設）			640本
広場の整備に合わせ、地下に駐輪場を築造			
駐輪場利用開始時期		駐輪台数	
平成27年12月1日～		約1700台	

バス、タクシー、乗降場、地下駐輪場等の施設を整備し利便性が向上

## ☆事業効果② 「環境の改善」

### 環境に配慮した取り組み

<p>○シェルター上に太陽光パネル設置</p> <p>シェルター 太陽光パネル</p>	<p>○OLED照明・エコ街灯の設置</p> <p>LED照明 エコ街灯 停電時でも照明の点灯が可能</p>
<p>○遮熱性舗装（車道）によるヒートアイランド対策</p> <p>イメージ 56℃ 46℃</p>	<p>○保水・透水性舗装（歩道）によるヒートアイランド対策</p> <p>保水・透水性平板ブロック</p>
<p>○太陽光パネル付き時計塔の設置</p> <p>太陽光パネル 長波アンテナ</p>	<p>○植栽（高木・低木）</p> <p>ハナミズキ オオムラサキツツジ</p>

## ☆事業効果③ 「交通の安全の確保」



渋滞要因の解消により交通の円滑化に寄与

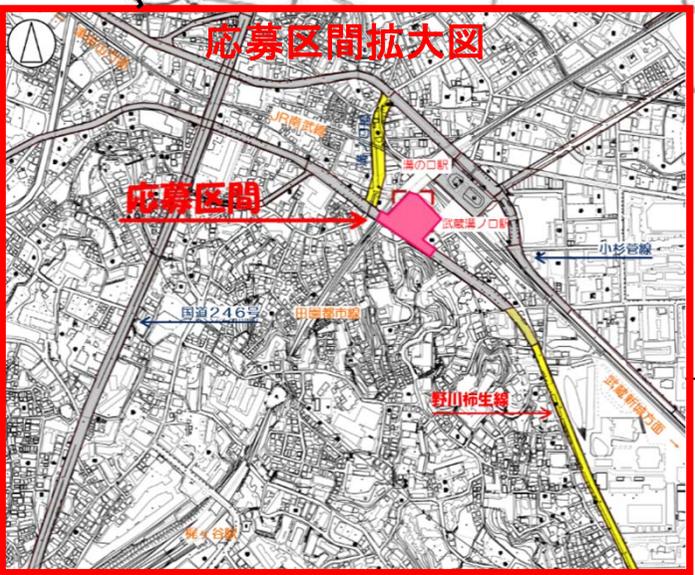
# 路線全体の進捗状況

都市計画道路野川柿生線 総延長 L=16,060m W=12~56.2m 施行済区間L=6,920 未施行区間L=9,140m



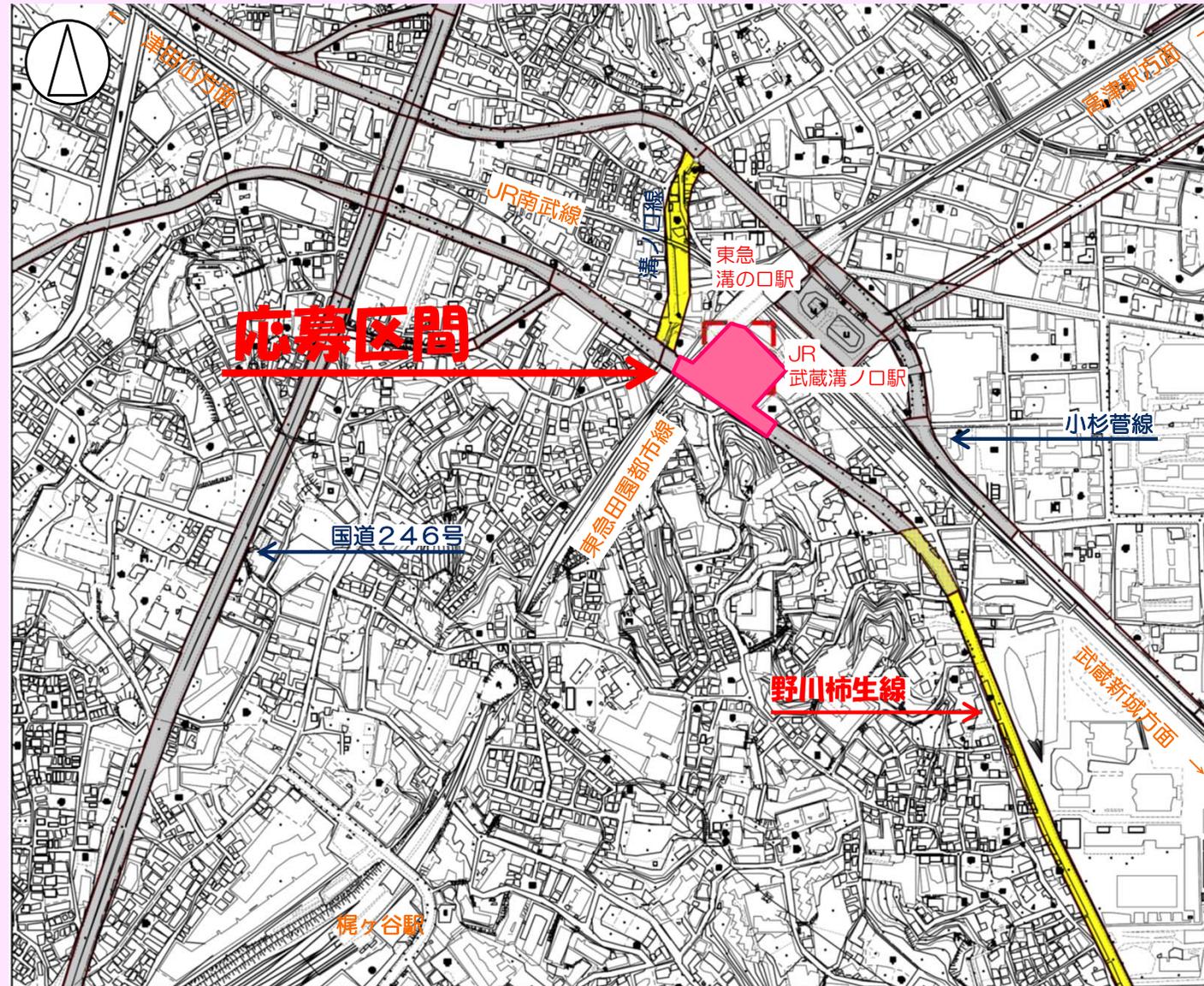
今回応募区間 H28年度完成

- 凡例
- 今回応募区間
  - 施行済区間
  - 未施行区間
  - 既設道路



1km

# 都市計画図



凡例	
	応募区間
	完成区間
	事業区間
	事業区間のうち完成区間
	計画区間